



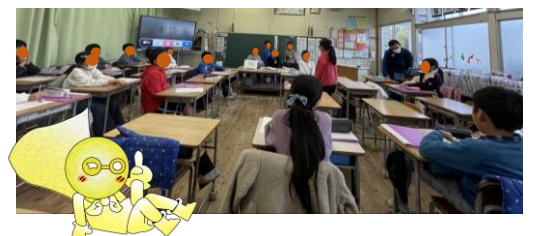
教室の窓から 2年2組

昨日12日(木)の5時間目の教室を窓から見ていると、2年2組で学級会が行われていました。話し合いの議題は、「クリスマス集会をしよう」です。提案理由を要約すると「クリスマスに『なかよし集会』をすることで、学級目標の『なかよし』に近づけると思うから」という内容でした。話し合うこと①は「どんなグループですか」ということで、「班ごと」「かかりごと」「全員でゲーム」という3つを原案として示し、その遊びを提案理由と照らして、賛成・反対意見を言いながら、どの遊びが「なかよし」に近づけることができるか比べ合っていました。「『係ごと』がいいと思います。わけは、いろいろな出し物ができて、なかよくなれると思うからです。」「『班ごと』がいいと思います。わけは、班のみんなとなかよくなれるからです。」「『全員でゲーム』がいいと思います。わけは全員でゲームをした方がもっとなかよくなれると思うからです。」とたくさんの意見が出ます。そして「係ごと」と「全員でゲーム」の二つが拮抗し、司会者が「同じくらい賛成があるので、『係ごと』と『全員でゲーム』の二つを時間を分けてします。」という提案にみんな賛成し、合意形成をすることができました。中には、不満気な子供もいましたが、話し合いのめあてに「決まったことは素直に受け入れよう」が掲げられていましたので、それに気づいて笑顔で受け入れていました。合意形成するには、折り合う力が必要です。折り合うためには「納得」と「我慢」が必要なのです。これは、大人になっても必要なスキルです。



教室の窓から 4年1組

さらに6時間目は、4年1組で学級会が行われていました。話し合いの議題は、「係大発表会をしよう」です。提案理由を要約すると「やっている係とやっていない係があるので、『係大発表会』をすることで、係が何をしているのかみんなに知らせ、学級目標の『きまりを守って楽しく』に近づけると思います。」という内容でした。



話し合う柱①は「発表する内容を決めよう」です。4年生は「各係でクイズをすると思います。準備して解いてもらうと『きまりを守って楽しく』の学級目標の達成に近づけるからです。」「係で動画を撮って流すと思います。言葉で伝えるより、もっと何をしているのか伝わります。」「係ごとにゲームをすると、もっと『きまりを守って楽しく』できると思います。」と提案理由と照らして、意見を出し合います。次に、どの方法が「きまりを守って楽しく」に近づけることができるか比べ合っていました。「『動画』はいいと思います。わけは、いつもやっている係への見方が変わって、みんなに伝わるからです。」「『係ごとにゲーム』がいいと思います。説明だけでは退屈するし、『きまりを守って楽しく』できるからです。」と意見をよりよいものに練り上げながら集約していきます。4年生の話し合いでは、意見を出して、疑問点があれば質問し合い、納得しながら賛成・反対意見を表明していました。合意形成がある決定は、自分事の意識を持ち、同じ熱量で決定事項に向かって取り組むことができます。一方で合意形成のプロセスを経ずに、一部の人が疑問や不満を抱えたまま物事を進めると、ミスや軋轢が生じる可能性があります。子供たちが活躍する世界とは、自分たちで決めたことを自分たちで実践していくことが重要だと思います。